

科目名	古典A		学年・必修	3年	選択	使用教科書	教育出版「古典文学選 古典A」			
			単位数	2		使用副教材	『読んで見て考える 重要古文単語315 三訂版』『基礎から解釈へ 新しい古典文法 四訂新版』『基礎から解釈へ 漢文必携 四訂版』『基礎から解釈へ 漢文必携 白訂版チェックノート基本編』			
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたる社会生活に必要な言語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 									
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ●授業ではノートを使用します。各自で用意して下さい。 ●授業で取り扱う「課題」には、個人でもグループでも、積極的に参加し、最後までできたらやり抜いて下さい。 ●各クラスでは平均点の半分未満（平均点60点の場合、29点以下）の人を対象に、「追加課題」を課すことがあります。 ●教科書とノートは毎回必ず持参して下さい。忘れ物をしてしまったときは、必ず朝のうちに職員室に来て申し出て下さい。 ●授業中の私語は周囲に迷惑をかける行為です。慎んで下さい。 ●学習の様子を見て、任意参加の補習授業を実施することがあります。もし、事前に希望がある場合は遠慮せずに申し出て下さい。 ●授業についていけず不安になった時は、遠慮せずに話して下さい。手立てを一緒に考えましょう。 ●授業に関する質問はいつでも受け付けていますので、遠慮せずに聞いて下さい。 									
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の観点			評価方法		割合 (%)		
	a	関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め国語を尊重してその向上を図ろうとする。			1 学習状況の観察	取り組み状況(ウツウト・おしゃべり・ぼんやり等)	5		
	b	読み、書く能力	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読み取り、自分の考えを深く、発展させ、相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書くことができる。			2 発表	発表を行う、発表者の話を聞く態度	5		
	c	知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。			3 提出物	授業プリント、レポート課題	10		
					4 小テスト	現代文重要語、古文文法、漢文句法、漢字の読み書き等	10			
					5 定期考査	年4回実施	70			
単元ごとの評価	評価する単元(前期)		評価する単元(後期)		単元評価の観点や評価する学習活動の別(当該単元で行う場合はその別)					
	平家物語		世界史		平家物語を学習し、古文の読み慣れるとともに時代背景にも目を向けさせる。その後源平の争乱を経て鎌倉時代にあつた元寇についてクローズアップする。その際に世界史の授業で元寇について学び、その後元寇について当時の日本と中国の文書について読み両者の違いについて確認させる。					
学期	月	単元名(教材)	配当時間	学習の目標・ねらい	学習評価			学習内容と学習のポイント	身に付けられる Checklist 5.0	
前期	4	一歌物「伊勢物語」 初冠・筒井筒	8	・歌物語の特色や文学史的な基礎知識、和歌の修辭法を整理する。 ・話の展開と登場人物の心情に注意して『伊勢物語』を読み、和歌の鑑賞に結びつける。	○	○	○	古文の基礎文法の理解ができているか、和歌の修辭法について理解できているかで評価します。	言語力	
	5	一逸話「李札挂剣・晏子使楚」	8	・作品の読解を通して、漢文への興味・関心を深める。	○	○	○	漢文の基礎的読みと句法が理解できているか、思想家の主張が理解できているかで評価します。	言語力	
	6	二和歌「和歌の諸相」	8	・作品の読解を通して、漢文への興味・関心を深める。	○	○	○	古文の基礎文法の理解ができているか、和歌の修辭法について理解できているかで評価します。	コミュニケーション能力	
	7	二史記「項王の最期」	4	・史記を読解しながら、項羽と劉邦を中心とした多彩な登場人物の描写を味わうとともに、作者包馬遷の人間に対する観察眼、洞察力にふれる。	○	○	○	漢文の基礎的読みと句法が理解できているか、物語の構成の巧みさが理解できているかで評価します。	他者理解	
	8									
	9	五歴史物語「大鏡」	8	・『大鏡』を読み、描かれたエピソードや、登場人物のさまざまな人間性を読み取り、ものの見方・感じ方・考え方について理解を深めることにも、そのエピソードや人物について語る語り手のスタンスを正しく捉えて鑑賞する。	○	○	○	古文の基礎文法の理解ができているか、敬語や和歌について理解できているか、また、登場人物の心情や歴史的事実を理解できているかどうかで評価します。紛らわしい語の識別についての理解も評価します。	他者理解	
	10	三詩文 「竹里館」「芙蓉楼送辛漸」 「桃花源記」	8	・詩文に読み込まれた情景や作者の心情を読み味わう。	○	○	○	漢詩の決まりを理解できているか、また、さまざまな詩文を読むことで作者の心情を理解できているかどうかで評価します。	他者理解	
	後期	11	八評論「無名草子」 清少納言・紫式部	8	・さまざまな評論を読み、古典文学の根拠にある発想を知ること、わが国の伝統と文化について理解を深める。	○	○	○	古文の基礎文法の理解ができているか、敬語や和歌について理解できているか、また、古典文学と伝統について理解を深めているかどうかで評価します。	言語力
		12	三軍記物語「平家物語」	4	・軍記物語を読み、平家物語独特の表現や常識を知ること、わが国伝統と文化について理解を深める。	○	○	○	古文の基礎文法の理解ができているか、敬語や和歌について理解できているか、また、古典文学と伝統について理解を深めているかどうかで評価します。	実践力
		1	『源氏物語』を読む 「源氏物語」藤壺の宮の入内	4	・各場面の舞台設定や人物像が、その場面の主題とどう関連するのかを考える。 ・各場面、和歌に読み込まれている登場人物の心情を理解し、本文の読解に結びつける。	○	○	○	古文の基礎文法の理解ができているか、敬語や和歌について理解できているか、また、登場人物の心情が理解できているかどうかで評価します。紛らわしい語の識別についての理解も評価します。	他者理解